

環境報告書の信頼性向上に向けて

「環境報告書の信頼性を高めるための自己評価の手引き」（環境省）に則り自己評価を行いました。記載すべき項目のうち、ほとんどについて記載できました。環境報告書をより良いものにするため、今後とも努力していきます。

自己評価表（「環境報告書 2008」に対する評価）

| 記載すべき項目 （「環境報告書の記載事項等に関する告示」に対応したチェックシート（評価表）による） | 記 載 ペ ー ジ | 記載のない理由 | 所 見 |
|--|---------------------------|------------|-------------|
| [1] 事業活動に係る環境配慮の方針等 | | | |
| ・ 経営責任者の緒言 | 3, 4 | — | — |
| ・ 事業活動における環境配慮の方針 | 4 | — | — |
| [2] 主要な事業内容、対象とする事業年度等 | | | |
| ・ 報告に当たっての基本的要件 | 1 | — | — |
| ・ 事業の概況 | 5-8, 13-15 | — | — |
| ・ 環境マネジメントシステムの状況 | 17, 18 | — | — |
| [3] 事業活動に係る環境配慮の計画 | | | |
| ・ 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括 | 17, 18 | — | — |
| [4] 事業活動に係る環境配慮の取組の体制等 | | | |
| ・ 環境マネジメントシステムの状況 | 17, 18 | — | — |
| [5] 事業活動に係る環境配慮の取組の状況等 | | | |
| ・ 総エネルギー投入量及びその低減対策 | 21 | — | — |
| ・ 物質投入量及びその低減対策 | 23, 24 | — | — |
| ・ 水資源投入量及びその低減対策 | 25 | — | — |
| ・ 事業エリア内の循環的利用を行っている物質等 | — | 調査項目にしていない | 調査を検討 |
| ・ 総製品生産量又は総商品販売量 | — | 生産業等に適用 | — |
| ・ 温室効果ガスの排出量及びその低減対策 | 22 | — | — |
| ・ 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策 | 26-28, 35 | — | — |
| ・ 化学物質排出量・移動量及びその低減対策 | 29 | — | — |
| ・ 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策 | 31, 32 | — | — |
| ・ 総排水量及びその低減対策 | 25 | — | — |
| ・ グリーン購入・調達状況 | 24 | — | — |
| ・ 環境に配慮した輸送に関する状況 | 22 | — | — |
| [6] 製品・サービス等に係る環境配慮の情報 | | | |
| ・ 環境負荷低減に資する製品・サービスの状況 | — | 生産業等に適用 | — |
| ・ 総製品生産量又は総商品販売量 | — | // | — |
| [7] その他 | | | |
| ・ 環境に関する規制遵守の状況 | 22, 26-28, 34, 35, 39, 40 | — | — |
| ・ 環境コミュニケーションの状況 | 41, 42 | — | — |
| 事業者の創意工夫により充実が望まれる項目 | | | |
| ・ 環境報告の概要 | 1, 2, 19, 20, 45-48 | — | — |
| ・ 事業活動のマテリアルバランス | 19, 20 | — | — |
| ・ 環境会計情報 | — | 導入に至っていない | 環境会計について調査中 |
| ・ 環境に配慮した投資の状況 | — | 投融資を行わない | — |
| ・ 環境に配慮したサプライチェーンマネジメント等の状況 | 18 | — | — |
| ・ 環境に配慮した新技術、DfE等の研究開発の状況 | 11-16 | — | — |
| ・ 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況 | 36 | — | — |
| ・ 環境に関する社会貢献活動の状況 | 42 | — | — |
| ・ 環境配慮と経営との関連状況 | 21-23 | — | — |
| ・ 社会的取組の状況 | 37-43 | — | — |